

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 31 日 (2017.8.31)

【公開番号】特開 2015-164691 (P2015-164691A)

【公開日】平成 27 年 9 月 17 日 (2015.9.17)

【年通号数】公開・登録公報 2015-058

【出願番号】特願 2015-127839 (P2015-127839)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 13 日 (2017.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動条件の成立に基づき、遊技者に有利な特別遊技を実行するか否かを判定する特別遊技判定手段と、

前記特別遊技判定手段による判定結果に基づいて、所定の演出手段にて演出を行う演出制御手段と、

前記特別遊技判定手段にて前記特別遊技を実行すると判定されると、図柄の変動時間を定める第 1 変動パターン又は当該第 1 変動パターンの定める変動時間よりも短い変動時間を定める第 2 変動パターンのいずれかを選択する変動パターン選択手段と、

前記特別遊技の終了後、第 1 の遊技状態又は前記第 1 の遊技状態よりも遊技者に有利な第 2 の遊技状態に、遊技状態を移行可能な遊技状態移行手段と、を備え、

前記変動パターン選択手段は、前記第 2 の遊技状態の場合、前記第 1 変動パターンを選択する場合と前記第 2 変動パターンを選択する場合とがあり、

前記演出制御手段は、前記変動パターン選択手段にて前記第 1 変動パターンと前記第 2 変動パターンのいずれが選択されたときであっても、前記特別遊技の実行の確定を告知する演出である確定演出を実行可能であるとともに、前記変動パターン選択手段にて前記第 2 変動パターンが選択されると、前記第 1 変動パターンが選択されたときに実行可能な前記確定演出とは異なる別の前記確定演出を実行可能であり、

前記遊技状態移行手段は、前記第 2 変動パターンが選択されたとき、前記特別遊技の終了後、前記第 2 の遊技状態に遊技状態を移行させることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

始動条件の成立に基づき、遊技者に有利な特別遊技を実行するか否かを判定する特別遊技判定手段と、

前記特別遊技判定手段による判定結果に基づいて、所定の演出手段にて演出を行う演出制御手段と、

前記特別遊技判定手段にて前記特別遊技を実行すると判定されると、図柄の変動時間を定める第 1 変動パターン又は当該第 1 変動パターンの定める変動時間よりも短い変動時間を定める第 2 変動パターンのいずれかを選択する変動パターン選択手段と、

前記特別遊技の終了後、第 1 の遊技状態又は前記第 1 の遊技状態よりも遊技者に有利な

第 2 の遊技状態に、遊技状態を移行可能な遊技状態移行手段と、を備え、

前記変動パターン選択手段は、前記第 2 の遊技状態の場合、前記第 1 変動パターンを選択する場合と前記第 2 変動パターンを選択する場合とがあり、

前記演出制御手段は、前記変動パターン選択手段にて前記第 1 変動パターンと前記第 2 変動パターンのいずれが選択されたときであっても、前記特別遊技の実行の確定を告知する演出である確定演出を実行可能であり、前記変動パターン選択手段にて前記第 2 変動パターンが選択されると、前記確定演出の実行割合を、前記第 1 変動パターンが選択されたときとは異ならせるとともに、前記第 1 変動パターンが選択されたときに実行可能な前記確定演出とは異なる別の前記確定演出を実行可能であること

を特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の遊技機(1)は、始動条件の成立に基づき、遊技者に有利な特別遊技を実行するか否かを判定する特別遊技判定手段(301a, S1601)と、前記特別遊技判定手段による判定結果に基づいて、所定の演出手段(104, 108, 121)にて演出を行う演出制御手段(320a)と、前記特別遊技判定手段にて前記特別遊技を実行すると判定されると、図柄の変動時間を定める第 1 変動パターン又は当該第 1 変動パターンの定める変動時間よりも短い変動時間を定める第 2 変動パターンのいずれかを選択する変動パターン選択手段と、前記特別遊技の終了後、第 1 の遊技状態又は前記第 1 の遊技状態よりも遊技者に有利な第 2 の遊技状態に、遊技状態を移行可能な遊技状態移行手段と、を備え、前記変動パターン選択手段は、前記第 2 の遊技状態の場合、前記第 1 変動パターンを選択する場合と前記第 2 変動パターンを選択する場合とがあり、前記演出制御手段は、前記変動パターン選択手段にて前記第 1 変動パターンと前記第 2 変動パターンのいずれが選択されたときであっても、前記特別遊技の実行の確定を告知する演出である確定演出を実行可能であるとともに、前記変動パターン選択手段にて前記第 2 変動パターンが選択されると、前記第 1 変動パターンが選択されたときに実行可能な前記確定演出とは異なる別の前記確定演出を実行可能であり、前記遊技状態移行手段は、前記第 2 変動パターンが選択されたとき、前記特別遊技の終了後、前記第 2 の遊技状態に遊技状態を移行させることを特徴とする。